

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学 I 運動器疾患患者の看護		糸 ふじ代		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(20)	教室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	運動器疾患患者の看護について学ぶ。				
到達目標	運動器疾患患者の看護の特徴について理解できる。 神経麻痺・循環麻痺の観察と予防ができる。 筋力低下の予防と評価ができる。				
事前学習	脳神経の解剖生理の復習をしておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	運動器疾患患者の特徴 (治療・看護)
2	運動器疾患患者の看護の考え方 (グループワーク) 事例①大腿骨頸部骨折で牽引をしている患者
3	検査を受ける患者の看護 (脊髄造影検査・関節造影検査) ギブス固定を受ける患者の看護
4	脊髄損傷患者の看護
5	包帯法演習 (伸縮包帯 弾性包帯 三角筋)
6	回復期の看護過程の展開 事例① 大腿骨頸部骨折で人工股関節挿入術を受ける患者 事例② 大腿骨頸部骨折で骨接合術を受ける患者 事例③ 変形性膝関節症で人工膝関節挿入術を受ける患者 事例④ 脊髄圧迫骨折患者の看護
7	14 項目分析
8	アセスメント
9	看護計画
10	まとめ 終講試験
履修上の要件	解剖生理学 (筋肉・運動器) を履修していることが望ましい。
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 運動器 医学書院
成績評価の方法	筆記試験 50 点満点 看護過程 50 点満点 合計 100 点満点評価
備考	脳神経疾患患者の看護、セルフケアの看護過程とあわせて 1 単位とする。